

Dialogue 30 Asking for permission -してもいいかきく-

教室での活動案

アクティビティ名：「かまいませんか？」

ターゲット表現のレポートのテーマを、吹き出しに合わせて変えて発話する Listen & Repeat 活動。圭とマクドナルド先生になりきって発話練習し、ペアワーク（2人一組になってもらい、1人が相手に対して発話するのを交互に行なったり、対話してもらったりする）。

Target Expression: **Is it alright if I change my report topic from dinosaurs to pirates?**

（レポートの題を恐竜から海賊にかえてもかまわないですか？）

用意するもの：

圭とマクドナルド先生の絵。

「吹き出しカード」いろいろ

- レポートのテーマが英語で吹き出しの中に書かれている
- テーマの内容は他にも自由に考えると良い

*可能であれば英語に適切なイラストを添えると良い

海賊(pirates)、恐竜(dinosaurs)、おばけ(ghosts)、
飛行機(airplanes)、船(ships)、車(cars)など。

(*レポートではそのテーマ一般を扱うと思われるので、対象をすべて複数形で示す)

- ① 圭とマクドナルド先生の絵と恐竜と海賊の吹き出しカードを黒板に貼り、教師が圭の発話をし、生徒に繰り返してもらおう。
- ② 用意した吹き出しを使って教師の発話を生徒が繰り返す発話練習が終わったら、吹き出しカードを全て黒板に貼り、生徒に2人一組になってもらって活動してもらおう。1人が黒板の吹き出しカード（何から何に変えるか2つ指す）を指し、もう1人がそれに合わせて文を作って発話する。交代で行なう。
- ③ ペアでの活動が終わったら、何組かペアを当てて、1人が黒板の吹き出しカード（を指し、もう1人が答える、という発表をしてもらおう。

例)

Teacher: (ダイアログと同じ状況の吹き出しカードを黒板に貼って、圭を指しながら)

Kei is asking Mrs. McDonald about his report topic.

(圭の声を真似て) Is it alright if I change my report topic from dinosaurs to pirates?

(恐竜から海賊、と吹き出しカードを指差しながら。) Ok, repeat.

Is it alright if I change my report topic from dinosaurs to pirates?

Classroom: Is it alright if I change my report topic from dinosaurs to pirates?

Teacher: Ok, then, he is asking....

(吹き出しカードを変える、圭の声を真似て) Is it alright if I change my report topic from pirates to ghosts? Repeat!

Classroom: Is it alright if I change my report topic from pirates to ghosts?

先生：圭がマクドナルド先生に彼のレポートの題について尋ねています。「ぼく、レポートの題を恐竜から海賊にかえてもかまわないですか？」ではリピートしてみましょう。「ぼく、レポートの題を恐竜から海賊にかえてもかまわないですか？」

教室：「ぼく、レポートの題を恐竜から海賊にかえてもかまわないですか？」

教師：はい、では次、彼は尋ねています.....「レポートの題を海賊からおばけにかえてもかまわないですか？」くりかえして。

教室：「レポートの題を海賊からおばけにかえてもかまわないですか？」

【発展】

許可を求める表現の練習の発展。許可を求めたい動作をカードを使ったり、実際に動作をしたり、実物を見せたりして示し、それをもとに許可を求める表現を練習し、使ってみる。

動作の例：

窓を開ける(open the window)、椅子を動かす(move the chair)、立ち上がる(stand up)、座る(sit down)、外に行く(go outside)、お昼ご飯を食べる(have lunch)、マンガを読む(read a comic book)、教室内を走る(run in the classroom) など。

例)

Teacher: (窓の傍に行き、窓に手をかけながら) Is it alright if I open the window?

Classroom: Is it alright if I open the window?

Teacher: (うなずいて窓を開けながら) Sure you can. Repeat. Sure you can.

Classroom: Sure you can.

Teacher: (お弁当箱を見せながら) Is it alright if I have lunch?

Classroom: Is it alright if I have lunch?

Teacher: (首をふりながら) No, you can't. Repeat. No, you can't.

Classroom: No, you can't.

教師：窓を開けてもよろしいですか？

教室：窓を開けてもよろしいですか？

教師：もちろん、どうぞ。繰り返しましょう、もちろん、どうぞ。

教室：もちろん、どうぞ。

教師：お昼ご飯を食べてもいいですか？

教室：お昼ご飯を食べてもいいですか？

教師：いいえ、ダメです。繰り返して、いいえ、ダメです。

教室：いいえ、ダメです。

→ 表現が定着したら、繰り返しだけでなく、実際に答えてもらう活動に発展させると良い。さらに可能なら生徒同士に質疑応答させてみよう。

例)

Teacher: (窓の傍に行き、窓に手をかけながら) Is it alright if I open the window?

Please answer. Is it right if I open the window?

Classroom: Sure you can. (または単に Sure. あるいは Yes! あるいは、OK. といった短い答えでもよい。)

Teacher: (うなずいて窓を開けながら) Alright.

Is it alright if I have lunch?

Classroom: No, you can't. (または単に No! という答えでもよい。)

Teacher: Oh, okay. A, ask B if it is alright to do something. Ask B.

Student A: B, is it alright if I run in the classroom?

Student B: No.

Teacher: Good. B, ask C if it is alright to do something. Ask C.

Student B: C, is it alright if I go outside?

Student C: Sure.

教師：窓を開けてもよろしいですか？ 教えてください。窓を開けてもよろしいですか？

教室：もちろん、どうぞ。

教師：いいですね。お昼ご飯を食べてもいいですか？

教室：いいえ、ダメです。

教師：ああ、そうですか。Aさん、Bさん、何かしてもいいかどうか聞いてみて。Bさんに聞いてみて。

生徒A：教室を走ってもいい？

生徒B：だめだよ。

教師：いいですね。Bさん、Cさんに何かしてもいいかどうか聞いてみて。Cさんに聞いてみて。

生徒B：Cさん、外に行ってもいいですか？

生徒C：もちろん。